

経済指標ウォッチャー

2021年11月米国雇用統計 雇用者数が市場予想を大幅に下回る

オミクロン株が雇用環境に影響をもたらすか

米国雇用統計とは？

米国の雇用情勢を調査した統計で、米国労働省が公表。米国雇用統計は速報性が高く、原則として毎月第1金曜日に公表される。

米国の金融政策を見通すうえで、雇用関連指標の代表である雇用統計の重要度は高く、投資家の関心が集まる経済指標。

11月の非農業部門雇用者数は大幅に鈍化

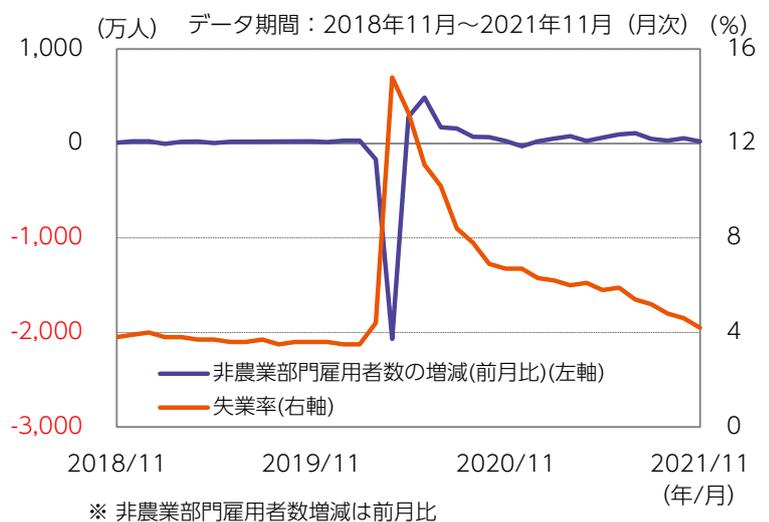
12月3日に米国労働省が公表した11月の雇用統計は、非農業部門雇用者数が前月比21.0万人増と市場予想の同55.0万人増を大幅に下回る結果となりました。失業率は4.2%(前月:4.6%)と0.4ポイント改善しました(図表1)。10月の非農業部門雇用者数は速報値の同53.1万人増から同54.6万人増と上方修正されており、11月の増加ペースの鈍化が際立つ結果となりました。厳しい行動制限措置が解除され需要増が期待されたものの、宿泊など娯楽・接客業は同2.3万人の増加と、前月の同17.0万人増から大幅なペースダウンとなりました。

オミクロン株は労働環境に影響を及ぼすか

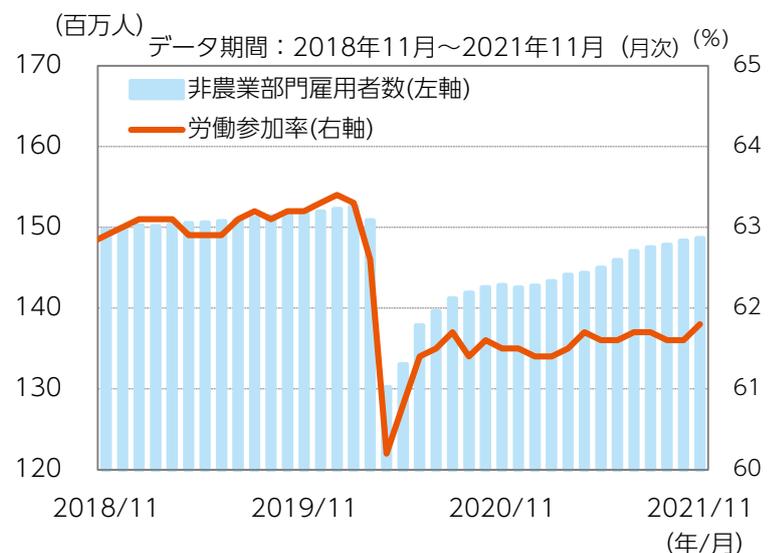
非農業部門雇用者数は“コロナ前”(2020年2月)と比較して97.4%の水準まで回復してきました(図表2)。16歳以上の人口に占める労働力人口を示す労働参加率は61.8%と“コロナ前”と比べると1%以上低い水準にあります。コロナ禍を機に早期リタイアを決めた労働者が一定数おり、労働参加率は現水準で落ち着くとの見方も一部出てきています。

今回の雇用統計において非農業部門雇用者数の増加ペースは鈍化したものの、失業率が大幅に改善したことから、市場ではFRB(米連邦準備制度理事会)が量的金融緩和縮小のペースを速めるとの見方が出てきています。一方で、パウエルFRB議長は、11月30日の議会証言において、新型コロナウイルスの新たな変異株「オミクロン株」について「経済と雇用に下振れリスクをもたらす」と発言しました。オミクロン株の感染状況が、雇用環境や金融政策にどの程度の影響を及ぼすか注目されます。

図表1：非農業部門雇用者数の増減と失業率



図表2：非農業部門雇用者数と労働参加率



出所) 図表1、2はブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

コールセンター 0120-762-506
9：00～17：00（土日祝日・年末年始を除く）
ホームページ <https://www.nam.co.jp/>